

「証券保管振替機構の組織・運営のあり方に関する  
ワーキング・グループ」(第2回)議事要旨

【開催日時】 平成12年7月14日(金) 午後1時~3時

【場所】 日本証券業協会 第1会議室

- 【主な議題】
1. 証券保管振替機構からの組織・運営面の現状についての報告
  2. 証券保管振替機構の運営面の問題
  3. 現行(組織形態)法制の下での業務の効率化の方策の検討
  4. 今後、さらに証券保管振替機構に期待される機能
  5. 証券保管振替機構のガバナンスの強化策

【議事要旨】

1. 証券保管振替機構からの組織・運営面の現状についての報告

証券保管振替機構から、「金融審議会第一部会ワーキング・グループ報告書において証券決済システム改革の目標は、『証券決済に係るリスクとコストの低減を図り、使い勝手が良く、我が国証券市場の国際競争力の強化に資する証券決済システムを構築すること』であるとされ、この目標を達成するためには、現在の証券保管振替機構の在り方について、組織形態の在り方、ガバナンスの在り方、サービスの在り方、の3点について見直す必要があると提言されている。本日は、これら3つの視点と前回のワーキング・グループにおける意見を踏まえて作成した資料に沿って説明させていただきます。」旨の発言があり、次のポイントに焦点を当てた報告が行われた。

機構の組織運営の在り方に関し、新聞・雑誌における指摘や東証正会員協会におけるアンケート調査結果の紹介

機構のガバナンス機能について、機構の組織体系や、公益法人と株式会社の制度開示情報の比較についての説明

機構のサービスの在り方について、保管振替事業開始からこれまでの収支状況、保管手数料料率と平均保管残高の推移、及び海外の保管機関との比較(収支状況、保管残高、手数料等)についての説明

2. 証券保管振替機構の運営面の問題

証券保管振替機構の報告を踏まえ、現在の証券保管振替機構の運営面の問題のうち、コスト面の問題について、委員等による意見交換が行われた。主な意見は次のとおり

である。

- ・ 証券保管振替機構におけるコストについては、二つの観点がある。一つは海外の保管機関との比較であり、もう一つは各証券会社等の社内における同様の事務（保管業務等）を証券保管振替機構に委託（アウトソース）するかどうかの比較である。
- ・ 保管業務等を証券保管振替機構に委託するかどうかについては、財産保全の面もあるが、コスト（手数料）に依存するところが大きい。手数料が下がれば預託率は向上し、また預託率が向上すれば手数料引下げが可能になるという好循環がもたらされることから、手数料と預託率の観点からも証券保管振替機構の運営の在り方について検討する必要がある。また、預託率向上のインセンティブを高めるため、大口手数料割引の徹底を図るなどの施策についての検討も必要がある。
- ・ 現在、証券保管振替機構におけるコストは、海外の保管振替機関と比較して、必ずしも安いとは言えない状況にある。また、振替手数料は、DTCなど諸外国では「件数ベース」であるのに対して証券保管振替機構では「株数ベース」となっており、不動化された証券の振替手数料の徴収方法など手数料体系の在り方についての検討が必要である。今後、コスト低減の実現に向けて、可能な限り人手を介さないコンピューター処理を前提に、規模の利益により達成していくことが有効であると考えられる。
- ・ ガバナンスの議論にも関連するが、株式会社化した場合のコストについて現在の財団法人の場合のコスト（内部留保を持たない実費弁償方式：法人税が非課税とされる分だけコストは低くなる）との比較、検討が必要である。
- ・ 2002年度中に証券決済のT+1、DVPの実現を視野に入れ、証券保管振替機構の預託率を欧米並みに引き上げるための手数料の先行引下げや、現在、手数料按分方式により行っている割戻しを出資に応じて割り戻す方法などの検討が必要である。

最後に、座長代理より、今後の進め方について、「本日の議論により、議題2の「証券保管振替機構の運営面の問題」のうち、コスト面については大体意見が出尽くしたと思われる。次回は、ユーザーの要求するサービスの種類・質及びガバナンスの観点からの検討を行い、議題3.の「現行（組織形態）法制の下での業務の効率化の方策の検討」に議論を進めることとしたい。」旨の発言があり、今回の会合は終了した。

【今後の予定】

次回会合は7月21日（金）に開催する予定。

（第4回会合は8月1日（月） 第5回会合は8月10日（木）に開催する予定。）

以 上

本議事要旨は暫定版であるため、今後修正があり得ます。

本件についてのご意見、お問い合わせは、下記まで電子メール又は  
お電話にてお寄せください。

日本証券業協会 公社債部

電子メール：saiken@jsda.or.jp

電話：03-3667-8456